

() は
保存温度

生化学検査

	項目コード	項目名	採取容器	必用量	検査方法	基準値	区分 実施科	報告 日数	備考	外注先
酵素・ 蛋白・ 窒素 化合物	1582 3B185	トリプシン 3B1850000023001	1 全血容器(茶)	血清 0.4(冷蔵)	EIA法	100～550 ng/mL	生化 I 189	3～4		3
	117 3C025	尿素窒素 BUN/UN 3C0250000023272	1 全血容器(茶)	血清 0.5(冷蔵)	ウレアーゼUV 法 GLDH UV法	8～20 mg/dL	生化 I 11	1～2		1
	143 3C015	クレアチニン CRE/Cr 3C0150000023271	1 全血容器(茶)	血清 0.5(冷蔵)	酵素法	M:0.65～1.07 F:0.46～0.79 mg/dL	生化 I 11	1～2		1
	2046 3C015	クレアチニン(蓄尿) CRE/Cr 3C0150000023271	5 尿スπιツツ	尿 0.5(冷蔵)	酵素法	0.50～1.50 g/day	生化 I 11	1～2	随時尿(項目コード2045) 測定値(mg/dL)で報告	1
	2240 8A065	eGFRcreat 8A0650000023919	1 全血容器(茶)	血清 0.5(冷蔵)	計算法	60以上 mL/min		1～2	血清クレアチニン(項目コード143)と同 時依頼が必要です ☆年齢・性別の記入がない場合と、18歳 未満の場合は「報告不可」とさせていただきます	1
	1488 3C016	シスタチンC 3C0160000023062	1 全血容器(茶)	血清 0.5(冷蔵)	ラテックス凝集 比濁法	M:0.58～0.87 F:0.47～ 0.82 mg/L	生化 I 109	3～5	*1	3
	2664 8A066	推算GFRcys 8A0660000023919	1 全血容器(茶)	血清 0.5(冷蔵)	計算法	mL/min		3～5	シスタチンC(項目コード1488)との同 時依頼が必要です ☆年齢・性別の記入がない場合と、18歳未満 の場合は「報告不可」とさせていただきます	3
	1182 8A025	CCR(24時間) クレアチニンクリアランス 8A0250000098271	1・5 全血容器(茶) 尿スπιツツ	血清・尿 0.5(血清) (0.5)(尿)	計算法	70～125 mL/min		1～2	蓄尿量・身長・体重を記載して ください	1
	119 3C020	尿酸 UA 3C0200000023271	1 全血容器(茶)	血清 0.5(冷蔵)	ウリカーゼ POD法	M:3.5～7.5 F:2.5～7.0 mg/dL	生化 I 11	1～2		1
	2582	尿酸排泄率	1・5 全血容器(茶) 尿スπιツツ	血清・尿 0.5(血清) (0.5)(尿)	計算法	5.5～11.1 %		1～2	計算式 U-UA×S-CRE/S-UA×U-CRE 随時尿酸(項目コード2047)・尿クレア チニン(項目コード2045)・クレアチニン (項目コード143)の同時依頼が必要です	1
	2048 3C020	尿酸(蓄尿) UA 3C0200000023271	5 尿スπιツツ	尿 0.5(冷蔵)	ウリカーゼ POD法	0.4～1.0 g/day	生化 I 11	1～2	随時尿(項目コード2047) 測定値(mg/dL)で報告	1
	1157 3C040	アンモニア NH3 3C0400000031271	73 NH3専用	EDTA加血液 2(氷冷)	試験紙1波長 反射法	30～86 μg/dL	生化 I 50	1～2	氷冷にて提出してください	1

*1 シスタチンC: 尿素窒素またはクレアチニンにより腎機能低下が疑われた場合に3月に1回に限り算定できる。ただし、ペントシジンを併せて実施した場合、主たるもののみ算定する。

○推算GFRcreat計算式

男性: $1.94 \times Cr^{-1.094} \times \text{年齢(歳)}^{-0.287}$ 女性: 男性 $\times 0.739$

○推算GFRcys計算式

男性: $(104 \times Cys - C^{-1.019} \times 0.996^{\text{年齢(歳)}}) - 8$ 女性: $(104 \times Cys - C^{-1.019} \times 0.996^{\text{年齢(歳)}} \times 0.929) - 8$